

質問回答

2022年5月9日

「バングラデシュ国バングラデシュ漁業開発公社水産センター整備計画準備調査」

(公示日:2022年4月20日/調達管理番号:22a00060)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
	P9 第6条(2)1)漁獲物の鮮度低下…	<p>「漁民の収入向上を実現するために必要な前提条件(本事業を通じて実現するサービスのコストと経済的入手難度)の設定と評価の方法」の部分について、理解を深めたく、質問いたします。</p> <p>【1行目】…原因及び流通時点並びに同損… → 漁獲後損失が発生する時点及び原因を把握する、との理解で良いでしょうか。</p> <p>【5行目】「経済的入手難度」 → 「経済的入手難度」の意味合いについて、もう少し具体的にご説明いただけますでしょうか。</p>	<p>【1行目】 御理解のとおりです。</p> <p>【5行目】 氷の購入や水揚場利用用という経済的コストと販売する魚の価格という利益を比較したうえで、利益がコストを上回るかという視点による比較に基づく経済的難度です。</p>
	P12 第6条(12)環境影響評価	「JICA 環境ガイドライン」は、2010年版と2022年版のどちらが適用となりますでしょうか。	2010年版です。
	P25 第3章2.(1)業務工程	第一次現地調査が7月中旬、帰国後9月から国内作業を開始するとして土木・建築の「概略設計及び積算」を完了させ、積算審査を経て2月初旬に概略設計協議となっております。これから想定しますと積算審査の期間を通常の2ヶ月と仮定した場合、「概略設計及び積算」にかかる期間が3ヶ月と設計及び積算の品質や精度を保持するには大変タイトなスケジュールに	積算審査室の審査期間の短縮は想定していません。概略設計協議の時期も現時点で変更の予定はありません。

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>なっております。積算審査室の審査期間の短縮、または概略設計協議の時期の変更は可能でしょうか。</p>	
	<p>P25 第3章 2.(2) 2)業務従事者の構成案</p>	<p>本案件は土木と建築を含む複合案件となる可能性が想定され、「施工・調達計画／積算」に関して、土木分野と建築分野とで独立した作業になることが想定されます。指示書内の業務従事者の構成案では1名となっておりますが1名で土木、建築の両方を担当することが想定されておりますでしょうか。</p>	<p>積算担当は1名を想定していますが、全体の人月の範囲内で複数名の提案とすることを認めます。</p>
	<p>P26 (5)安全管理 P27 4.見積作成にかかる留意事項</p>	<p>業務計画の検討にあたって、本案件の業務は安全上の配慮から、業務対象国にはダッカから出入国し、コックスバザールへは出張ベースで入域する前提としてよろしいでしょうか。またその際、コックスバザールでの滞在期間に制限が設けられている場合、具体的な制限をご提示いただけますでしょうか。</p> <p>また、見積は、「本調査時にコックスバザールの滞在期間に制限がある」との前提で本見積に反映するとの理解でよいでしょうか。あるいは別見積に分ける必要はございますでしょうか。</p>	<p>ダッカから出入国し、コックスバザールへは出張ベースで入域する前提です。コックスバザールでの滞在期間は最大で週末を跨がない5泊6日です。</p> <p>見積もりについては、上記の条件を反映したうえで積算ください。別見積に分ける必要はありません。</p>

以上